

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和 2 年 1 月 30 日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令の基準を上回るスペースを確保しています。また学習支援が中心の支援であり、定員に応じた机・椅子を設置し、状況に応じて机を移動してフリースペースを作れるように配慮しています。	今後も同様に活動内容に対して適切になるよう、家具の配置やスペースの確保に努めて参ります。
	2 職員の配置数は適切である	○		基準よりも多い職員を配置しており、療育に関わる職員は、全員有資格者で対応しています。	今後も適切な人員配置と共に、利用児童数に合わせて更に人員を確保できるように努力して参ります。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		これまでは、車椅子利用の児童の受け入れはありませんでしたが、室内に段差はなく、車椅子での移動には支障のない環境になっています。	今後も、全ての利用児童の活動や支援に支障がないよう、適切に環境に配慮して参ります。
	4 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		常勤・非常勤問わず会議に参加し、現状の把握と今後の方針を検討しています。	今後も職員の話し合いの機会を設け、PCDA サイクルに沿って課題点を話し合い、評価を行い、解決策を見出して業務改善に努めて参ります。
業務改善	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		定期的にアンケートによる評価を実施し、またご相談があった場合は、都度職員へ周知し、業務遂行ができるよう努めています。	これからも提出されたご意見の検討を行い、業務改善を行って参ります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		COMPASS 発達支援センターの公式 Web サイトで公開し、その存在を保護者様等へも周知しています。	今後も結果は Web サイトで公開し、サービスの向上や改善につながるよう努めて参ります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現時点では第三者による評価は行えていませんが、他事業所（福児会）との研修を通じ、問題等の解決策を話し合いながらより良い業務が遂行できるよう努めています。	第三者による評価は現状では行っており、今後の課題とします。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所内の職員研修は定期的に行い、また他事業所との研修を通して情報共有を図り、各事業所との意見交換により、質の向上を目指しています。	今後も事業所内研修を継続し、外部研修に参加したのものについては情報共有を行い、今後も資質の向上に努めて参ります。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者様のご意向、児童の特性を把握した上で、客観的な分析を経て計画を作成するよう心掛けています。	今後も引き続き、聞き取り、分析の上、個別支援会議を行い、最適な計画を作成するよう努めて参ります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		書類の統一と整備を行い、年齢や児童の状況に合わせてアセスメントツールを使用しています。	今後も継続して適切にアセスメントツールを活用していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラムは、職員会議の中で児童の状況や季節などに応じてチームで立案しています。	今後も管理者、児発管、児童指導員、保育士など、さまざまな立場で意見を出し合い、立案を行って参ります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		平日は基本活動が多くなりますが、特に長期休みについては、曜日によって活動内容が変化するように工夫しています。	今後も年間計画や季節ごとのプログラム、その年の時事も取り入れるように工夫し、固定化することのないよう努めて参ります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		児発管作成のプランを基本軸とし、児童それぞれの状況、療育時間、事情に合わせて、基本きめ細やかな課題を設定しています。	今後も平日には連続性の課題を中心に、長期休暇には季節に合ったイベントも等も取り入れて、利用児童に合った内容を設定して参ります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動と集団活動を、特性や発達段階・年齢、保護者のニーズに応じて、計画的に組み込んでいます。	今後も同様に個別療育と集団活動を、児童の特性に応じて計画に組み込み、支援計画を作成して参ります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝、その日の支援内容について話し合いを行い目的や注意事項を確認し、支援内容を決めています。	今後も毎朝ミーティングを行い、支援の内容とその意味合い、注意事項などを話し合い、周知を図っていきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後、当日の記録を取る中で、支援内容を報告し合いながら、職員間で情報共有を図っています。	今後も継続して支援終了後の話し合いを大切に、情報共有を続けて参ります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回記録を書き、その中で気づきや、児童に変化があった内容は必ず共有するようにしています。	今後も日々の療育内容は必ず記録として残り、すぐに検証と改善ができるように心掛けて参ります。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月以内に必ずモニタリングを行い、支援計画を見直しています。	今後も定期的なアセスメントを継続し、保護者様のご意向も反映させながら、判断し、児童発達支援計画を更新して参ります。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせ支援を行っています。特に児童へ対しての支援内容については、直接指導にあたる職員の意見を吸い上げ、統一した支援ができるよう努めています。	これからも基本活動を、児童の特性や年齢、季節等も考慮に入れ全員が全力で支援を行って参ります。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議には児童の状況を一番把握している児発管が参加しています。	担当者会議は、継続して児童の状況に精通した児発管が出席して参ります。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		関係機関連携会議の開催や、送迎時に連携を図り、下校時間の変更等、担任の先生と連絡調整を行い、トラブルの予防に努めています。	今後も情報共有と連携を継続して参ります。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現時点で医療的ケアが必要な児童の受け入れはありませんが、協力医療機関は徒歩圏内と近くにあります。受け入れる場合は安全に充分配慮し、連携体制を整えるよう努めます。	医療的ケアが必要な児童が利用となる場合、配慮を欠かさず体制強化に努めて参ります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		大半の児童は就学前から系列事業所を利用しており情報共有、相互理解は出来ています。その他の事業所でも、適宜情報交換を行い、児童の状況に適した支援を行えるよう努めています。	今後も同様に情報共有に努めて参ります。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	現在までに卒業した児童はいませんが、進路については保護者様と相談を行い、移行先への情報提供に関しても準備はできております。	該当する児童が移行することになった場合、保護者様から許可を頂いた上で、関係各所へ情報提供を行って参ります。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	スタッフ研修（福児会）として専門機関に講演を依頼し、学ぶ機会を設けています。	今後も同様に連携を行って参ります。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在までに事業所外での交流機会はありませぬ。	保護者様のご意向をうかがい、今後交流の機会を検討して参ります。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		○	現時点までに参加の機会はありませんでした。	今後は必要に応じて参加を検討して参ります。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎の際に保護者様からよくご相談を頂き、丁寧に聞き取り、対応させて頂いているため、学校や自宅の様子についてもしっかりと把握出来ていると考えます。	今後も同様に、あらゆる機会を捉え、共通理解に努めて参ります。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		様々なご相談を頂く中で、児童への対応については丁寧に聞き取り、助言やご提案をさせて頂いております。	今後も保護者様へ丁寧な聞き取りと助言は継続して参ります。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時の読み合わせ時に丁寧な説明を行なっています。	今後も同様に丁寧な説明を心がけて参ります。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		進学先についてのご相談を多く頂き、児童の持つ可能性についての話し合いを行っています。	今後も同様に悩みには丁寧な対応を心がけて参ります。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現時点では父母の会や保護者会などは開催できておりません。	保護者様によっては通所状況を秘匿されたい方の事情もあるため、保護者様のご意向をうかがい、慎重かつ充分配慮の上で検討して参ります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情は速やかに職員へ周知し、改善策を討議しています。従来では、苦情になる前に保護者様と連絡を取り、話し合いを持つ様に努めています。全てのご意見に対し迅速かつ適切に対応させて頂いております。	今後も同様に、迅速な対応ができる状態を整えて参ります。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		季節ごとに「COMPASS だより」を発行し、また公式 Web サイトでは最新情報の他、毎日事業所の活動内容がブログで紹介されています。	今後も同様に「おたより」の季刊、ブログを継続し保護者様へサイトを周知して参ります。
	35 個人情報に十分注意している	○		写真掲載など個人情報に関する場合には毎回保護者様への確認書面により同意を得ています。個人情報の取り扱いは細心の注意を払い使用し、施錠できる書庫で保管しています。	今後も同様に細心の注意を払って参ります。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		特性を踏まえて、口頭、メール、筆談等あらゆる手段を活用して情報伝達に努めています。	今後も同様に意思疎通を図って参ります。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現時点では、地域の方をご招待するなどの交流の機会はありません。	学習主体の支援形態であるため時間配分への配慮と保護者様のためには通所を秘匿されたい方もおられるため、保護者様のご意向に沿って、慎重かつ充分配慮の上で検討して参ります。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルは策定し、室内の見やすい場所に掲示しております。	今後も保護者様への周知に努めて参ります。
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎年火災・地震・風水害の避難訓練を行っています。	今後も同様に行なっていきます。	
非常時の対応	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部での研修に毎回参加し、参加した職員が事業所へ持ち帰り、会議にて周知しています。	今後も継続して研修を行なって参ります。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在身体拘束が必要な児童のご利用はありませんが、利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護する為にやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得るようにしています。	今後も同様に対応して参ります。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーについてはご契約時に保護者様から聞き取りを行い、職員が把握出来るよう一覧表を作成し、全員で周知徹底しています。	今後も同様に対応して参ります。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットは都度報告書を作成し、ファイルにまとめ、都度振り返り共有しています。	今後も継続しヒヤリハット報告書を作成し、事故防止に努めて参ります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。